



ŌMIYA NEWS



No.015 2024年 8月6日

JR東労組大宮地本

広島・長崎への原爆投下から79年！

今こそ歴史の教訓から学び、核兵器のない平和な社会の実現に向けて行動しよう！



8月6日広島に原爆投下



8月9日長崎に原爆投下

多くの命が一瞬にして奪われた事実を決して忘れてはならない！

原子爆弾が広島と長崎に投下され79年が経過しました。世界で初めて使用された核兵器により街は一瞬で焦土と化し、広島では14万人、長崎では7万人の方がその年末までに命を落としました。

私たちは平和研修で戦争の歴史と教訓を学び、戦争政策に反対し、平和で安心して暮らせる社会を求めてきました。しかし、昨今のウクライナ侵攻、パレスチナ問題など国家間、地域での戦争・紛争・内戦が後を絶ちません。自分たちの身の回りで起きていないから「他人事」となり「無関心」になってしまう現実もあります。しかし世界情勢の変化により核兵器の使用が現実味を帯び、「核共有」や「核抑止論」の主張が一部で高まりつつあることもリアルに認識しなければなりません。

また昨今、アメリカ側が新たな司令部設置を表明し、指揮統制連携強化で「日米一体化」はさらに加速し、日本の米国の核兵器への依存はかつてないレベルで深まっているなど取り巻く情勢は大きく変化しています。沖縄県辺野古では米軍普天間飛行場の代替基地として民意に背き、建設を強行する国の姿勢が如実に現れています。

そうした中だからこそ平和憲法9条の重みと大切さを考えなければなりません。「戦争放棄」や「戦力不保持」、「交戦権否認」が定められている憲法9条。しかしその平和主義の理念が大きく揺らいでいます。ひとたび戦争になれば戦時体制に組み込まれ、犠牲となるのは私たち市民や労働者です。社会インフラを担う私たちは決して無関係ではられません。

だから今こそ一人ひとりが行動しよう。今こそ憲法改悪を許さず、「核兵器のない平和な社会」を求めよう。大宮地本主催「8月平和集会(仮称)」(8月31日開催)に結集し、共に行動し、たたかいを創り出そう！

過去の真実から戦争の悲惨さを学び、憲法改悪と軍拡を許さず、平和で安心して暮らせる社会を創るため、仲間と共に行動しよう！